

白石川堤は沖積土※で、足で踏んでも固まらないところや辺り一面が菜の花である点で文献と良く似ており、モグラ塚のことが理解できました。さらにこの穴やそこに棲みつくネズミが原因で土壌乾燥や根の食害、病原菌の拡散が起き、一帯の桜の衰退に繋がっていることもわかってきました。桜とのコントラストが良いとの理由で菜の花を植えたり、桜の近くは土が固結するので人に踏ませなかったりというのが一般的な考えですがケースバイケース、大河原では「吉宗式?」が適すようです。



昔から先人たちは仕事始めには畦畔や果樹園を回りネズミ・モグラ穴を見つけては踏んで埋め、忌避植物には根に毒があるマンジュシャゲ(彼岸花)やスイセンを移植したものです。今は同じヒガンバナ科でもハナニラなど観賞性の高いものも多く見られます(写真)。白石川堤でも撃退策を講じ、桜を守りたいものです。

※河川が運んだ土砂が堆積したものです。

第45回 モグラとネズミで先人の教え再確認



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木

さくら並木

今年一年ではなく、慌ただしく過ぎたこの一か月を振り返る。

～充実した公務・政務へのご理解とご協力に感謝～

『地方あつての国である。』ことが国民の共通の思いに!

大河原町長 齋 清志

先日、来年の『町村長手帳』が届きました。師走が近いことを感じながら、手帳を二つ並べこの一年を振り返ったところですが、そうした中、この一か月の多忙に思わず苦笑してしまいました。因みに主な行事を紹介させていただきます。10月20日(日)は、『第31回おおがわらオータムフェスティバル』が白石川公園で開催され、一日千本桜のもと5000人を超える来場者が訪れ大盛況でした。その後1週間ほどは15日(火)に公示となった衆議院選挙が佳境に入り、激しい選挙戦でしたが27日(日)に開票され政府与党に厳しい審判が下されました。選挙結果の余韻の残る中、28日(月)は町政5期目の初登壇の日で、職員を前に『町長訓示』を行いました。29日(火)30日(水)は、『宮城県観光地所在町村協議会』の研修で空路名古屋方面へ出発。ブランド牛肉で有名な岐阜県養老町で先進的な観光戦略の研修(残念ながら牛肉は口に入らず)帰りの飛行機は欠航となり、新幹線を乗り継いで深夜の帰宅となりました。

11月に入り1日(金)は、令和7年3月で閉校となる大河原商業高等学校の『閉校記念式典』に出席。その後中座して、『多賀城創建1300周年記念式典』へ参列。翌2日(土)は、私的に続けている企業訪問を終えて、えずこホールでの『大河原町民文化祭』へ出席。3日(日)は行政区のスポーツ行事と防災訓練に出席。中座して、宝くじスポーツフェ

ア』はつらつママさんバレーボールin おおがわら』出席のためヒルズはねっこアリーナへ。全日本代表で活躍した川合俊一監督をはじめとした往年のスター選手と本町選抜チームとのフレンドリーマッチを見学しました。

23日(水)間公務に追われ、7日(木)8日(金)は『北海道東北六県町村会会長会議』で空路札幌へ。北広島市のスケールの大きい官民連携事業(エスコンフィールド北海道)の視察研修。帰りの飛行機が3時間遅れとなりました。

9日(土)はパークゴルフ大会に出席。10日(日)は、消防団への新しいポンプ自動車交付式。11日(月)は、午前中の庁議を終えて仙台へ。宮城県町村会から県と県議会への『令和7年度県予算編成並びに施策に関する要望書』の提出と意見交換会を開催。県幹部職員と議長に対する大切な政務活動を無事終えることができました。

12日(火)13日(水)は、本町の令和7年度予算編成に向けた『政策形成ヒアリング』で終日会議。14日(木)は、午前中に『大河原町老連創立60周年』の記念式典で講演をさせていただき、午後は『みやぎ食育・健康づくりフェスタ』に出席。本町が『第8回宮城県健康づくり優良団体表彰』の大賞を受賞しました。

15日(金)は百歳を迎えたかたへのお祝いに駆け付け、午後は令和7年度採用職員の最終面接があり、優秀な人材を確保したところです。



▲オータムフェスティバル 開会式の様子

(11月21日記)

17日(日)は、大河原町消防団消防演習。翌18日(月)は、『東部地区町村会会長会議』で青森県七戸町へ。翌19日(火)は、帰庁せず新幹線で東京へ直行。全国道府県会会長会議へ出席し、夜は仙南・巨理町長会の意見交換会に参加。20日(水)は、『全国町村長大会』に出席し、その後は宮城県選出の国会議員への政務(要望活動)を実践。夜は、全員の県選出国会議員と村井知事、高橋県議会議長にも出席いただき盛大な意見交換会を開催。21日(木)に会議を経て帰宅。

慌ただしく、忙しい日々を強調したい訳ではありません。私(町長)が公務・政務をこなすためには、町民の皆様や職員との理解・協力と支えが絶対条件です。地方に暮らす我々だけではなく、国民の共通の思いとして『地方あつてこそ国である』との確固たる価値観が重要です。そして『社会変革の時代』との認識を持って幸福度を高める『Well-being』を求める日々が続きます。



高野豆腐の卵とじ

令和6年度大河原町食育スローガン

「らくらく(楽楽)みんなで食育推進」



写真は1人分

【ひとり分栄養価】
エネルギー:172kcal 塩分:1.2g

調理担当
ヘルスマイトから一言

高野豆腐は高たんぱく質で、鉄分、カルシウムを含む食材です。手でちぎることで、味が染み込みやすくなります。玉ねぎを垂直に切ると柔らかく煮えるので食べやすいです。

大泉 しげ子(中町区)

材料 (4人分)

- ・高野豆腐.....2枚
- ・玉ねぎ.....1/2個
- ・溶き卵.....2個
- ・しいたけ.....2枚
- ・三つ葉.....適量

【A】

- ・めんつゆ(2倍濃縮) ...大きじ3
- ・水.....150ml
- ・みりん.....大きじ1

作り方

- ①高野豆腐はぬるま湯に10分程つけて戻し、両手で挟むようにして水気を絞り、1口大にちぎる。
- ②玉ねぎは縦半分に切り、繊維に垂直に薄切りにする。しいたけは薄切りにし、三つ葉は3cmの長さに切る。
- ③フライパンにAと玉ねぎ、しいたけを入れて蓋をして煮る。玉ねぎがしんなりしてきたら、高野豆腐を加え、弱火でさらに3分程煮る。
- ④溶き卵を全体に回し入れ、半熟状になるまで煮る。器に盛り、三つ葉をのせる。